

川下地区土地改良事業計画概要書

1	目 的													
	本地区は、末端未整備圃場があり用水施設の老朽化により安定した用水供給ができておらず、維持管理にも苦慮している。また、切深が浅く排水口を確保できないため、暗渠排水を整備できず排水不良となっており、当別土地改良区の他地区と比べ整備水準に差がある状況になっている。このため、本事業で換地を用いた区画整理により大区画化、用排水路のバイライン化及び自動給水栓の導入により生産性向上と営農作業の効率化を図るとともに、地域農業の更なる活性化に向け、農地の流動化を促進させ規模拡大により農業経営の安定を図る。													
	2	(1) 地域の所在		石狩郡当別町										
		(2) 地域の現況												
		ア 地 形		石狩振興局管内当別町の南西部に位置し、当別川に隣接する平坦な水田地帯である。										
		イ 土 質		表土が粘質であり耕起・砕土が困難な土質である。										
		ウ 土 壌		粘質であり、河川に近いこともあり地下水位が高くグライ層が出現する。										
		エ 気 象												
		平 均 気 温		8.9℃		かんがい期平均気温		17.0℃						
		平 均 降 水 量		1,150mm		最深積雪深		130cm		平均降水日数 171日				
		根 雪 期 間		12月 1日から 4月 8日		無霜期間		5月 1日から 9月 1日						
		オ 水利状況		石狩川水系当別川当別ダムより取水し、当別幹線の末端川下線から、かんがいている。										
		カ 営農状況		水田・畑作等を基幹とする農業生産が展開されている。										
		キ 地域環境の概況		石狩平野の最西部に位置し、内陸性気候で比較的温暖であり、平坦な土地と自然環境に恵まれた地帯である。										
		(3) 地積及び受益戸数												
		区分		地目		水田	畑	樹園地	道路	水路	山林原野等	非農用地	計	受益戸数
				(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	戸
		区画整理		現況	76.2	1.3			3.0		0.3	80.8	10	
計画				75.0	1.3			4.3		0.2	80.8			
全体		現況	76.2	1.3			3.0		0.3	80.8	10			
		計画	75.0	1.3			4.3		0.2	80.8				
3	(1) 事業計画内容 区画整理による基盤整備を行い、営農作業の効率向上を図り、生産性を上げ近代化農業に向け計画を推進するものである。													
	(2) 環境との調和への配慮 工事の際、掘削土や濁水の流出防止に配慮する。また作業機械は低騒音、低振動、排出ガス対応の機種を使用し、地域の自然環境や美しい田園農村景観に配慮する。													
4	工事又は管理の要領	主 要 工 事 計 画	事業種			受益面積			事業量及び事業内容					
			区画整理			76.3			(整 地) A= 76.3ha (道 路) L= 626m (用水路) L= 4,972m (排水路) L= 3,609m (暗 渠) A= 75.6ha (客 土) A= 75.0ha					
	造成又は改良	施設名		管理団体名					管理方法					
	される施設の管理方法等	用水路 排水路 耕作道		当別土地改良区					直轄管理					

5	換地計画の要領	(1) 換地計画樹立の必要性 本地区は、土地改良事業により区画の整形化等の生産基盤の整備を図り、農業の近代化を目指している。また、併せて分散した農用地の集団化を図ることとしていることから、本事業により改変される権利関係の調整並びに農用地の集団化を図る上で換地計画の樹立が必要となる。							
		(2) 換地計画樹立の基本方針							
		ア 従前の土地の地積の基準 換地交付の基準とする従前の土地の地積は、土地改良事業計画決定の日の登記簿地積とする。ただし、決定の日から3ヶ月以内に測量士、測量士補又は土地家屋調査士の測量した実測図及び隣接所有者の同意書を添付して申し出があった場合は、その申し出のあった地積とする。							
		イ 農用地集団の方法							
		換地区		地帯別、グループ別団地の設定	個人別換地の方法				
				位置選択	1戸当たりの目標団地数	区画畦畔の取り扱い			
		川下		該当なし	各人の従前の土地が最も密集した位置	概ね1～3団地		固定畦畔	
		ウ 非農用地の換地方針							
		換地区		種類	非農用地区域の位置の概略	面積	換地の手法	換地取得予定者	その他
		川下		宅地 雑種地 原野	概ね従前の位置	ha 0.2 0.02 0.06	特定用途用地 不換地 不換地	従前の所有者	
		エ 清算の方法 条件差差積清算方式							
		(3) 土地改良法第5条6項に規定する国有地等の編入承認に係る地積							
		換地区		機能交換に係る土地				一般公有地	合計
				国有地	道有地	市町村有地	計		
		川下		ha	ha	ha	ha	ha 1.82	ha 1.82
		(4) 換地処分の時期に関する特則 本地区の区画整理工事が完了し、確定測量が行われた時は、土地改良法第89条の2第10項で準用する同法第54条第2項但し書の規定に基づき換地処分を行うことができる。							
		6	費用の概算	事業種	事業費	負 担 区 分			工期
						国	道	地元	
区画整理	千円 4,000,000			千円 2,200,000	千円 1,300,000	千円 500,000	R9～R17		
計画樹立費	200				100	100	R8		
7	効 用	区画整理	(1) 事業の効用 ほ場の大区画化による生産性の向上・生産コストの低減により総費用総便益費1.11と1.0以上である。						
			(2) 事業効果額						
			効果項目	作物生産効果	品質向上効果	営農経費削減効果	維持管理費削減効果		
			効果額(千円)	50,055	21,246	151,572	△ 915		
			効果項目	農業労働環境改善効果	国産農作物安定供給効果				
		効果額(千円)	17,158	8,861					
		(事業種)	(3) 事業負担の見通し 増加所得償還率は20.6%で40%以下となっており、事業費負担について特筆する点はない。						
			(1) 事業の効用						
			(2) 事業効果額						
			効果項目						
効果額(千円)									
8	他事業との関係	(1) 農業部門内における他の事業との関係及び調整方法					9 計画概要図 別図のとおり 10 その他		
		該当なし							
		(2) 農業部門外の事業との関係及び調整方法							
		該当なし							